

問題



この漫画のタイトルは1〜5のうちのどれだと思いますか？

1. 借りて来た猫
2. 喧嘩両成敗
3. 上手の猫が爪を隠す
4. 女の心は猫の目
5. 腹は立て損、喧嘩は仕損

1. 時は金なり
2. いつまでもあると思うな親と金
3. 地獄の沙汰も金次第
4. 親は無くとも子は育つ
5. 先立つものは金



とくがきつる



喧嘩両成敗



殿中の 松の廊下で 吉良殿は
すべってころんで 運動会

吉良上野介は賄賂大好きの強慾な人間だった。「仮名手本忠臣蔵」が受けをねらったデッチ上げで、事実ではないらしい。この人は粹(いき)な粋人で、教養もかなりある公家の血筋を引いた、高貴な雰囲気をもつ、他人にうらまれるような性格ではなかったとのこと。

追いかける 浅野内匠は 青物と
額にたてて コケッココー

この人は清廉潔白な生真面目な人柄とゆうよりは、癩性病みのすぐにかつとする性格たちで常に顔面蒼白。病的に神経質な人間だったが、本当のところらしい。
元禄十四年三月十四日、江戸城内の松の廊下で突然襲いかかれた吉良上野介は、すべ

つてころんで額を斬られる。
コケッココーの浅野内匠頭は、とどめを刺せずに後ろから羽交い締めされたのはご存じのとおり。

当時のお上(かみ)の方針では、ケンカをしたら当事者双方が罰を受けると明記されていた。つまり、どんなことがあってもケンカをしてはいけない。たとえ売られたケンカでも買ったら一連託生だよってこと。

結果はご存じのとおりだが、当時の幕府の喧嘩両成敗の方針は見上げたもんだ。上屋根屋のフンドシ、決して悪くはない。いや現任(いま)この精神を生かしてもらいたい、特に国際的に。

たとえはどんな理由があるにせよ戦争をしたら両当事国に切腹を申しつけるとなれば、切腹が好きな国民はいないから、いかなる理由があっても戦争をしなくなる。イスラエルもパレスチナも仲良くせざるを得なくなるはず。

私のこの考えが甘いという奴は表(おもて)に出ろつてんだ!
(ト 私はケンカ腰になった)



おかしな話



先立つものは金

だったら
カネみたいなもん
持ってこい



口はばつたいたいようではあるが、私の稼ぎで何とか暮らしているのである。が、ノー天気

な夫は「もう働くの、やめなさい」と言う。やめなさいと簡単に言うが、カネのことは心配しなくていいとは決して言わない。した

がって私は働かなくてはならない。

夫は「カネみたいなもん、使ってしまったら終(しま)いやないか」と平然と言ったのけるが、カネみたいなもんがなくては生活は成り立たない。

先立つは、率先する、つまり、何はともあれまず必要なのはカネである。何事をするにもカネがなくては二進も三進も(に)つちもさつちもいかなないということである。人参一本玉ネギ一コ手に入れるにはカネが要(い)る。

ノー天気は、カネみたいなものと言っているが、カネみたいなものを持ってこいと言いたい。

「まア、見ている。わしの書いているもん(小説らしいが)が売れ出したら、そんなもんは見るのもいやになるほど入ってくる」とウツぶく。小説みたいなもん書かなくていいから、恥をかいてもカネを稼いでこいと、心の中でドクつく。

ノー天気は、わかったような顔で「カネさえあれば何でも買えると思ってる現代人があわれでならない。カネで幸福は買えんよ」とくる。

私は「カネで幸せは買えないかも知れないが、不幸を遠ざけることはできる」と舌打ちする。

